

平成31年度 学 校 経 営 の 方 針

1 学 校 教 育 目 標

夢と潤いのある学校	
1. 深く広く考える生徒 【知性】	2. やさしく思いやりのある生徒 【徳性】
3. ねばり強くやりぬく生徒 【意志】	4. 明るくすこやかな生徒 【体力】
昭和59年4月 1日制定 平成31年1月15日改訂	

※ めざす生徒像と育成を目指す資質・能力

教育目標		めざす生徒像	資質・能力
夢と潤いのある学校	深く広く考える生徒 【知性】	①筋道を立てた考えや柔軟で多面的な考えが表現できる。 ②課題を見い出し、豊かな着眼・着想に基づいた追究の手立てを築きながら、解決することができる。 ③自己評価し、改善策を立てることができる。	○ 知識・技能 ○ 思考力・判断力・表現力等 ○ 学びに向かう力・人間性等
	やさしく思いやりのある生徒 【徳性】	①自らを律し、他を思いやることができる。 ②自らの役割に責任をもち、他と協力できる。 ③自己評価し、改善策を立てることができる。	
	ねばり強くやりぬく生徒 【意志】	①課題意識をもち、根気強く取り組む。 ②よりよい方法を調べ、効果的に取り組む。 ③自己評価し、改善策を立てることができる。	
	明るくすこやかな生徒 【体力】	①心身を鍛えることができる。 ②健康や安全に努めることができる。 ③自己評価し、改善策を立てることができる。	

※ めざす教職員像

○生徒の心に寄り添い、ともに高まる、人間性豊かな教職員
○教えるプロとしての自覚と責任をもつ、専門性豊かな教職員
○教育公務員として期待と信頼に応える、倫理性豊かな教職員

2 経営の基本方針

広陵の生徒

——— 伸びよ 広陵の生徒。
どこまでもはてしなく
すくすくとのびる
ポプラの若木のように
若さは わたしたちの誇り。

——— 燃えよ 広陵の生徒。
どこまでもはてしなく
向学心の炎は 鉄火のように
学びは わたしたちのつとめ。

——— きたえよ 広陵の生徒。
雨にたたかれ
風に吹きたおされても
根強く生きる 雑草のように
強さは わたしたちの宝。

——— 生きよ 広陵の生徒。
大地におちた ちっぽけな種が
芽を出し 花をひらき
実を結ぶように
みのりは わたしたちの力。

昭和59年『広陵の教育』より

本校は、平成28年度から30年度まで「自ら学ぶ意欲を高め、主体的に生き生きと活動する生徒」「課題意識をもとに、主体的、創造的な活動を通して、自己評価能力を高める生徒」を重点目標として、授業改善と粘り強い生徒指導、丁寧で細やかな保護者との連携によって、大きな成果を上げてきた。

特に近年、規律ある落ち着いた生活態度・授業参加、廊下整列時から入退場を含めての整然とした集会活動、前向きで意欲的に取り組む学年・学校行事、創意と工夫に満ちあふれた生徒会活動、活動的で連帯意識の強い部活動などに、本校の特色を見出すことができる。

また、全国学力・学習状況調査において、どの教科も全国平均を上回ることができなかったが、平成25年度からは正答率が右肩上がりとなり、全国平均との差は縮まっている。各教科毎の無解答率にも顕著な向上が見られる。学力向上推進委員会による早期採点と分析により、学力向上に向けた的確な方策を見だし、ユニバーサルデザインを意識した、わかる授業のための改善に結び付いている。授業に関する生徒アンケートや保護者アンケートも、高い評価が得られている。また、加配を活用した学習支援、放課後学習会や長期休業中の学習サポートが、自ら学ぶ機会の提供と学習を苦手とする生徒の底上げにつながっている。

そして、様々な小中連携の営みが、9年間を見通した学習活動と生徒指導上の効果的な取組への成果として表れている。特に、授業づくりにおいては、

小学校の学びのスタイルを理解し、その良さを継承していくことの大切さが認識できた。

しかし、行事ごとに実施する保護者アンケートや学校評価において、一生懸命に取り組む教職員の姿勢に感謝される一方、わかる授業づくりに向けた一層の研鑽や理解が十分でない子供への支援、子供の気持ちに寄り添った対応を求める指摘も見られる。時代が変われば親や子供が育つ社会背景や環境も変わり、価値観も多様となる。時代の潮流を捉え、子供たちに求められている教育の在り方を模索することが必要である。教育の流行と不易の意味を理解し、人を育てるという崇高な営みにかかわる時、教師としての矜持、揺るがないものは各々が腹に据えるべきである。「何のために子供を育てるのか」「どんな大人になってほしいのか」の答えは、自身の教育方針とも重なるはずだし、保護者とも共有できることである。「挨拶をしない子」という見解をもつのではなく、なぜ挨拶ができないのかを考える教師でありたい。

その子の本当の幸せを願った親身で丁寧な指導と「毅然とした指導」に基づく信頼関係づくりが必要である。学級開きと教科開きを大切にしていきたい。子供たちのためにと語ったことは、一年間語り通していきたい。「悪いことをする子はいるかもしれないが、悪い子はいない」を信じて、教師としてとことん付き合っていきたい。勉強が苦手な子、悩みをもっている子、一人ぼっちの子には、特に目をかけていきたい。そういったことが「毅然とした指導」の本質である。教師としての良心や覚悟を示していきたい。生徒理解だけが、本当にその子に寄り添った指導を可能にするのである。

学校は、想定外の連続である。そもそも、劇的な成長期にある中学生がいつもいつも私達の想像どおりに存在するはずがない。刻々と変わりゆく目前の子供たちの実態を直視して、何も起こらない学校ではなく、何が起きても対応できる創造性豊かな学校を目指したい。

平成最後の年度内に本校の学校教育目標改訂が実現した。開校以来35年間、広陵中の先達者らが追い求めてきた理想と、今次学習指導要領に記された「育成を目指す資質・能力」を参酌し、整理・統合した結果である。今後も、その具現化を常に念頭におき、教育活動のどの場面で、どのようにしてその実現を目指すのかを明確にした展開が求められる。

3 今年度の重点目標

学習指導と生徒指導の両面で、「課題意識」をもとに、主体的、創造的な活動を通して、自己評価能力を高める生徒の育成

○学習指導では、「見通しをもたせて、わかる・できる授業を工夫し、やりぬく力と自己評価能力を高めることのできる生徒」を育てる。

○生徒指導では、「自制心と思いやりの心をもたせて、生徒同士のコミュニケーションの場を工夫し、認め合い、高め合うことのできる生徒」を育てる。

4 学校運営推進の具体策

(1) 成果と課題を踏まえ、学校改善に向かう組織力の向上と学校経営参画意識の高揚

①学校評価結果(特に、生徒アンケートの実施時期や回数、内容、自己評価との関連や整合性。特別活動ごとに実施する保護者アンケートの継続と活用。)と種々の調査を通して見える実態を直視し、一人一人の創意と工夫を生かしながら組織として、課題解決を図り、次に生かせる体制を構築する。

②変化に対応する柔軟な思考と発想を用いて、PDCAの実践を通して経営参画意識を培い、いつでも誰もが同じことのできる校務運営を推進する。

※引き続き、学校評価実施要領等の検討、前年度踏襲にこだわらない分掌内・学年内の係分担や行事内の係分担の検討、「以前の年度」ではなく、前年度に発行された文書を深化・発展させること。

(2) 「生きる力」をはぐくみ、夢や目標を実現させる教育課程の管理の推進

①「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」をめざし、「何ができるようになるか」を明確にしながら、バランスのとれた教育活動を展開する。

②新学習指導要領を踏まえ、本校の生徒の姿と地域の実態と関連づけた「社会に開かれた教育課程」の編成・実施・改善の方策を見通す。

※「カリキュラムマネジメント」と教科毎の「育成を目指す資質・能力」の追究、適切な評定(含む道徳科)と観点別評価との関連の研究、新体力テストの分析を通じた成果と課題の共有。

(3) 授業力は教師力、教師力は学校力となる研修・研究の充実

①意欲を高め、主体的に学ぶ生徒の育成をめざした指導方法や教材研究等を、互いに共同して学び合い、互いに高め合う同僚性を構築する。

②変容の事実を子どもの姿で示すことが可能となる、組織的・計画的・実践的な校内研究の充実をめざすとともに、教職経験や職務上の課題に応じた専門性を身につける研修会に参加する。

※「授業改善について(H30.12.6 教頭)」の活用、一人一授業公開(含む道徳科)と参観体制の工夫、課題別研修(特別支援教育の現状と新学習指導要領の理解等)。

(4) 校外の声をとらえ、地域の活力を生かす「開かれた学校」の創造

①コミュニティ・スクール導入を目指し(2020年1月まで)、保護者やPTA、学校評議員、地域の関係団体と積極的に連携・協力するとともに、各種通信の発行や学校ホームページの更新を通して、こまめに幅広く学校情報を発信する。

②「広陵中地区小中連携推進委員会」を核に、小中互いの教育活動の成果と課題を理解することを通して、一層の連携を深めながら、9年間を通して一貫した指導が可能となる取組の継承をめざす。

※PTA事業への積極的参加、外部指導者の一層の招聘と活用、小中の学習規律の運用と検証、陵雲小歌声集会の参加対応、小中教師同士の授業交流(含む道徳科)から小学校の指導技術を取り入れた授業の構築、長期休業中の学習支援の小中交流(中学生が小学生の学習支援)。

(5) 秩序と安定をめざし、協働する学年・学級経営の推進

①教師による「居場所づくり」と生徒同士による「絆づくり」を通して、自己有用感を高めるとともに、いじめが起きにくい、いじめに向かわない、秩序ある学年・学級風土を醸成する。

②月や学期単位で意図的・計画的なねらいや見通しをもった学年・学級経営の充実に努めるとともに、他学年・他学級の情報や実践を共有しながら、毅然とした指導ができるよう、円滑で安定した連携・協力をめざす。

※特色ある学年や学級の取組の継承、毅然とした指導に基づく信頼関係づくり、本当の意味で「そろえる」ことは難しいこと、教師自らがワクワクする特別活動の工夫(生徒にしかける)、旭

川市いじめ防止基本方針（平成31年2月）を踏まえて「広陵中いじめ防止基本方針」「いじめのない笑顔あふれる学校を」の見直し。

(6)潤いに満ちた教育環境の整備と確かな危機管理体制の推進

- ①「師弟同汗」の清掃活動，豊かな教育実践を示す掲示活動，管理区域の日常点検・破損や汚損の即時対応と整理整頓に基づく校内空間の環境整備の充実に努める。
- ②「学校安全計画」「危機管理マニュアル」に基づく未然防止と確かな初期対応（「さ・し・す・せ・そ」）による安全管理・安全指導の徹底を図る。
- ※給食費の公会計化を視野に入れながら未納督促の状況の記録化（文書督促・電話・家庭訪問等），体育館窓と遮光カーテン開閉と手すりの設置，生徒玄関床・体育館教官室床整備，体育用具の計画的購入とその見通し，性や薬物乱用防止・アウトメディア宣言と情報モラル・食育，「施設点検日」の励行と記録による改善計画，定期的な清掃用具の新調（特にトイレ），停電時の保護者等連絡方法の整備と維持，「早わかり広陵中学校」の更新，「報告」の「ルート」確保。

(7)健やかでたくましい心身をはぐくみながら，子どもと向き合う部活動の推進

- ①全教職員の理解と協力の下，生徒の自主的・自発的な参加に基づき，顧問や部員相互の望ましい交流やかかわりを通して他者に対する思いやり，連帯感，克己心等の社会性を育成する。
- ②「教育活動の一環」であることを踏まえ，教育課程との関連を図りながら，部活動後援会と連携して保護者の理解と協力に基づいた活動の充実に努める。
- ※子どもたちのバランスのとれた生活と教職員の働き方改革という両面より「広陵中学校の部活動に係る方針」の策定，実施。部活動指導員配置要望申請，テスト前中止を大会等の関係でやむを得ず実施する場合の他への振替や体育的行事後の部活動中止など積極的な休養日設定への意識改革推進，複数体制の意義の理解。

5 学 習 指 導 ・ 生 徒 指 導 推 進 の 具 体 策

(1)見通しをもたせながら，深く広く考えて，課題発見・追究・解決できる学習指導の充実

- ①基礎・基本の充実に図り，子どもが知りたいこと学びたいことを引き出す。言語活動を充実させ，子供が学習の主体者として思考力・判断力・表現力を高め，深く広く考える生徒の育成をめざす。
- ②教科開き，単元の初め，本時の導入過程で，適切な目標を提示して「何を学ぶか」を明確化し，終末には達成の程度を把握させる活動と自己評価を行い，「どのように学ぶか」の見通しと「何が身に付いたのか」を見取ることができる指導計画を構築する。
- ※「各教科等の特質に応じた『見方・考え方』」，自己評価能力の育成，教科書機能の研究，無解答対策，意図的計画的な宿題（提出物）指導，家庭学習の手引き活用，各種検定やコンクールへの積極的な出品の推奨。

(2)全教育活動を通した心の教育の充実

- ①各教科や他領域の事前事後指導との関連を図りながら，互いの良さや違いを認め合い，思いやりと自制的気持ちなどの豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実に向けた一層の推進を図る。
- ②選定された「中学道徳 あすを生きる（日本文教出版）」や「私たちの道徳」（「私たちの道徳」活用のための資料），副読本，外部人材等を活用し，道徳科を要とした道徳性の育成をめざすとともに，道徳教育推進教師を中心として，授業づくり（ポートフォリオ等の蓄積）や評価について，平成31年4月からの実践に備える。
- ※重点指導項目1（2）と2（2）と4（3），全学級で「議論する・考える」道徳の授業公開，「礼儀をわきまえる・時間を守る・環境を整える」を率先垂範

(3)個と集団を高め，望ましい人間関係をはぐくむ特別活動の充実

- ①次年度までの見通しをもった，綿密な指導計画に基づく学校・学年行事の運営を通して，生徒の良さや持ち味，豊かな着眼・着想を生かし，所属感や連帯感を培わせる工夫を行いながら，他者に対する「豊かな想像力」を培い，互いの自尊感情を高められる活動をめざす。
- ②教えることと学ばせたいことを峻別し，「何を，どうするか」についての話し合い活動を充実させ，よりよい人間関係を築くための折り合いを見いだす，質の高い集団形成に努める。
- ※学年進行に応じた主体性の育成，何を教え何を学ばせるのか，メンバーシップの育成，教師自らがワクワクする特別活動の工夫（生徒にしかける），特別活動（学校行事）に関する保護者アンケートの継続と活用。

(4)自ら学び，自ら考える力をはぐくむ総合的な学習の時間の推進

- ①生徒自ら課題を見つけ，課題を解決する力をはぐくむための授業計画，学習過程，指導体制，学習形態に一層工夫するとともに，身につけさせたい力とそれを活用し，探究する力を高めるための場面を明確に押さえて指導する。

- ②地域の教育資源を積極的に活用し、地域の良さとかかわりの重要性が理解できる実践を展開するとともに、体験的な学習や問題解決的な学習指導の充実をめざす。
- ※「世の中と結びついた授業等」、引き続き、総合的な学習の時間の評価の研究。

(5) 共感的そして多面的な生徒理解を深め、自己実現を促す生徒指導の充実

- ①日常的なふれあいや教育相談を通して、生徒の内面を共感的そして多面的に理解し、将来において社会的な自己実現ができる資質や態度の形成を促す指導を充実させる。
- ②教職員の共通理解・指導が可能となるよう、指導方針、指導方策、きまり等の文言を適宜、点検、修正しながら、指導の一貫性を整合させるとともに、特に、挨拶や返事の励行、授業中の言葉遣い、時間や約束を守るなどの基本的な生活習慣や規範意識の向上をめざす。
- ※規律ある集会（無言による入退場）の継続、自治を学ぶ生徒会活動、「うん」と「はい」の使い分けができる生徒、いじめ重大事態の理解、教育相談票（質問紙）の内容検討・改善、「隠れたカリキュラム」の実践。

(6) 望ましい生活習慣をつくる健康安全教育の充実と将来の生き方や進路に関する現実的探索をめざすキャリア教育の充実

- ①体力・運動能力や運動習慣等の分析と考察に基づいた、体育・健康に関する指導の成果と課題の検証を行うとともに、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を確立させ、体験的な活動や部活動を通して辛いことや苦しいことに負けない身体とたくましい心の涵養を図る。
- ②三年間を見通し、主体的な進路選択や将来の夢や目標の実現に向けた系統的な指導を充実させ、「地域人材銀行」や職場体験学習等の外部人材を活用した特色ある教育活動と肯定的自己理解と自己有用感獲得をめざすキャリア教育の推進を図る。
- ※全国学テ質問紙全学年経年変化、キャリア教育の全体計画における「各学年の指導目標」が具体的な学習活動のどの場面とリンクしているかの整備

(7) インクルーシブ教育システムの理念の推進と個の教育的ニーズに応じた特別支援教育等の充実

- ①コーディネーターを中心とした校内支援体制の継続を通し、教育的ニーズに応じた個別の指導計画や個別の支援計画に基づく個に対する共通理解、交流や共同学習等による実践等、個（個の特性）に応じた指導方法の研修を深め、支援を一層充実させる。
- ②発達障害、不登校あるいは不登校傾向のある生徒に対しては、学年あるいは生徒指導部、校内支援委員会と連携し、対応と指導の充実を図る。
- ※加配による学習支援、引き続き、放課後学習会や長期休業中の学習支援参加生徒へのアンケート実施＝課題の発見と改善、長期休業中の学習支援において生徒同士の教え合い（先生役の生徒配置と異学年交流、LGBT 等に対応する男女混合名簿の作成。